

令和2年度 綾部市立西八田小学校だより

八田ブロック共通【学校教育目標】

# とよさか

「未来を切り拓く子どもの育成」  
～夢に向かって進む八田の子～

八田ブロック共通【めざす児童像】

- ・自ら学び、自ら考え行動する子ども
- ・自分を大切に、人を大切にする子ども
- ・健康で、たくましく生きる子ども

令和2年5月11日（月）発行

このような時だからこそ…

5月になりました。旧暦ではこの5月を皐月（さつき）と言います。この時期に行う田植えが皐月の語源と考えられているそうです。田に植える用の成長した苗を「早苗（さなえ）」言い、そこから転じて早苗自体が田植えを意味する言葉として用いられてきました。そのため、田植えをする月の意味で「早苗月（さなえづき）」と付けられましたが、略されたことで「早月（さつき）」となり、最終的に現在使われている「皐月」に変わったと考えられているそうです。

また、この時期に使われる言葉に「五月晴れ」があります、もともとは「梅雨の晴れ間」のことでしたが、今では「5月のすがすがしい晴れ」を指すことばとしても使われています。5月といえば、気候も爽やかな良い時期で、大型連休もあり、各地でお祭りやイベントも多く、賑わいのイメージがありますが、今年の5月は様子が一変しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が出され、世の中はステイホームで全国の観光地も閑散としています。学校も臨時休校期間が5月31日まで、延長されました。5月11日（月）、18日（月）、25日（月）、29日（金）の4日間の登校日を設けていますが、子どもたちはご家庭や地域で過ごすことが多くなります。我々教職員も、子どもたちの宿題や課題づくり、登校日の受け入れ準備をはじめ、学習環境の整備、6月からの本格的な教育活動の再開を信じて、教育課程の再編成やより効果的な学習指導に向けた準備、研修等を子どもたちがいない中でもそれぞれが精一杯進めております。保護者や地域の皆様には引き続きお世話になりますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

P T A活動についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在は会議や活動を自粛しています。会員の皆様には本来ならP T A総会での議案の審議、採決を行うところですが、未曾有の緊急事態ということで、書面審議という形で審議、採決とさせていただきます。おかげさまで、会員の皆様にご承認いただきました。現状としては、早期の活動再開は厳しい状況で、P T A活動計画も中止や延期も含め、今後再検討が余儀なくされると考えます。会長様をはじめ、役員の皆様と今後の在り方について協議を進めていきたいと思っております。

このように、この新型コロナウイルスはいつ収束するか分からないだけに心配や不安も大きいです。しかし、そのような中でも、毎日のニュースや新聞を見ていると、知恵やアイデアを生み出し、たくましく仕事や生活をしている方がおられます。ジョン・F・ケネディは、『crisis（危機）』という言葉は二つの意味の言葉からできている。一つは『danger（危険）』という意味。もう一つは『opportunity（機会）』という意味である。』と言っています。いたずらに「危機」を恐れ悲観的に捉えるのではなく、絶好の「チャンス」と前向きに捉えることも今大切なことなのかもしれません。学校教育活動やP T A活動も「例年通り」という言葉はもはや通用しない状況にあります。子どもたちや皆様の安心・安全を最優先に考えながら、その中で何ができるかをみんなで知恵やアイデアを出しながら考えていきたいと思っております。

校長 小嶋 康弘

## 西八田の小窓



### 自転車安全教室〔4月17日(金)〕



綾部警察署交通課指導係の方々の指導を受け、正しい自転車の乗り方を学習しました。新型コロナウイルス感染対策を十分とり、屋外で低・中・高学年別に実施しました。「自転車の乗り方・降り方」「ブレーキのかけ方」「交差点の渡り方」等を学びました。学んだことをこれからの生活に活かし、自分や他人の命を守る正しい行動をとってほしいと思います。お忙しい中、自転車の運搬等、お世話になりました保護者の皆様、ありがとうございました。